



組織だよ!!り 2014.6.26 NO422
健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。

集団的自衛権とは？ そのネライは？



平和社保委員会で組合員・職員学習会



6月19日、国会で問題になっている集団的自衛権の学習会が多目的ホールで行われました。講師は「憲法9条を守るわかやま県民の会」代表の坂本文博氏。憲法9条と集団的自衛権について1時間の講義をしていただきました。

集団的自衛権が認められてしまうと、自国が攻撃されてもいないのに自衛隊が戦地に送られることになります。たとえ後方支援であったとしても、相手側から見れば、攻撃すべき敵とみなされず。そして、今の若い人は戦争に自衛隊が派遣されても自分たちの生活には影響がないと思っている人が多いようですが、戦争をするようになると誰も自衛隊に入ろうとしなくなります。そうすると今度は徴兵制になり、戦争へ行くことを拒否できなくなってしまいます。つまり、戦争に行きたくない人でも戦争へ行って命を落としてしまうことになるのです。私たちは過去の戦争でもう2度と戦争をしてはいけないと学んだはずです。戦争できる国にしないように、皆さんも集団的自衛権に反対していきましょう。



まちから村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくそう

和歌山県高齢者運動連絡会第12回総会

6月19日(木)和歌山県高齢者運動連絡会第12回総会が勤労者総合センターで開催されました。安倍自公政権の暴走、憲法政治の破壊と高齢者の尊厳・生存権の危機が進む中、和歌山県の65歳以上の人口は28万4千人余り、高齢者比率は28%(2013年3月末)で全国第5位と高齢化が進んでいます。また、75歳以上の高齢者は、

14万8千人で人口比15%、全国10位です。県下の65歳以上のひとりぐらしは5万7千人、65歳以上人口の20.2%、高齢夫婦の2人世帯も約6万世帯という状況です。孤独から孤立へすすむ高齢者が多く生まれる条件が広がっている中、まちから村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくす活動方針が提案され採択されました。県下8つの地域連絡会組織、医療生協をはじめとする7団体で構成する県高齢者運動連絡会のうち、7名の方から発言がありました。年金者組合からは、年金切り下げ不服審査請求のとりのくみ、海草地域連絡会は、昨年の県高齢者大会を成功させたとのりくみ、西牟婁地域連絡会から今年の県高齢者大会の準備状況、伊都地域連絡会から高齢者輝きフェスタなど1年間の活動報告、医療生協からは特養ホームの建設についてなどが報告されました。今年の県高齢者大会は10月18日上富田町文化会館、全国高齢者大会は9月12日～13日富山県富山市で開催されます。



和歌山市高齢者運動連絡会が第19回学習会

6月13日市民の命をの水を考える 滝畑・山口地域の産廃最終処分場建設計画について学習会を開催しました。日本最大規模の産廃計画で、汚染水だけでなく地すべり、崩壊の多発地帯で防災上も危険がいっぱいの地域ということがわかりました。この学習会には会場いっぱいの人が集まり、命の問題として関心の高さがうかがえました。

